



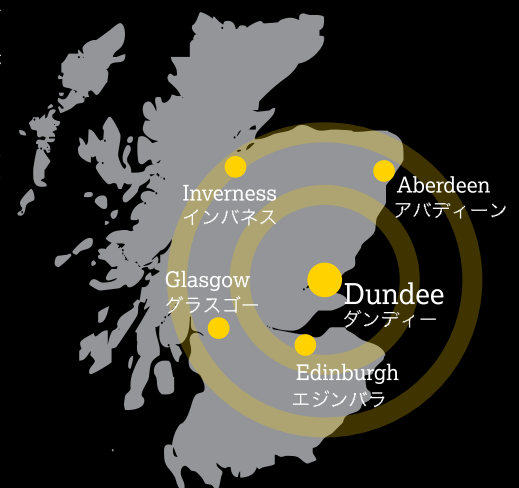
ダンディー： たくさんの発見に満ちた都市

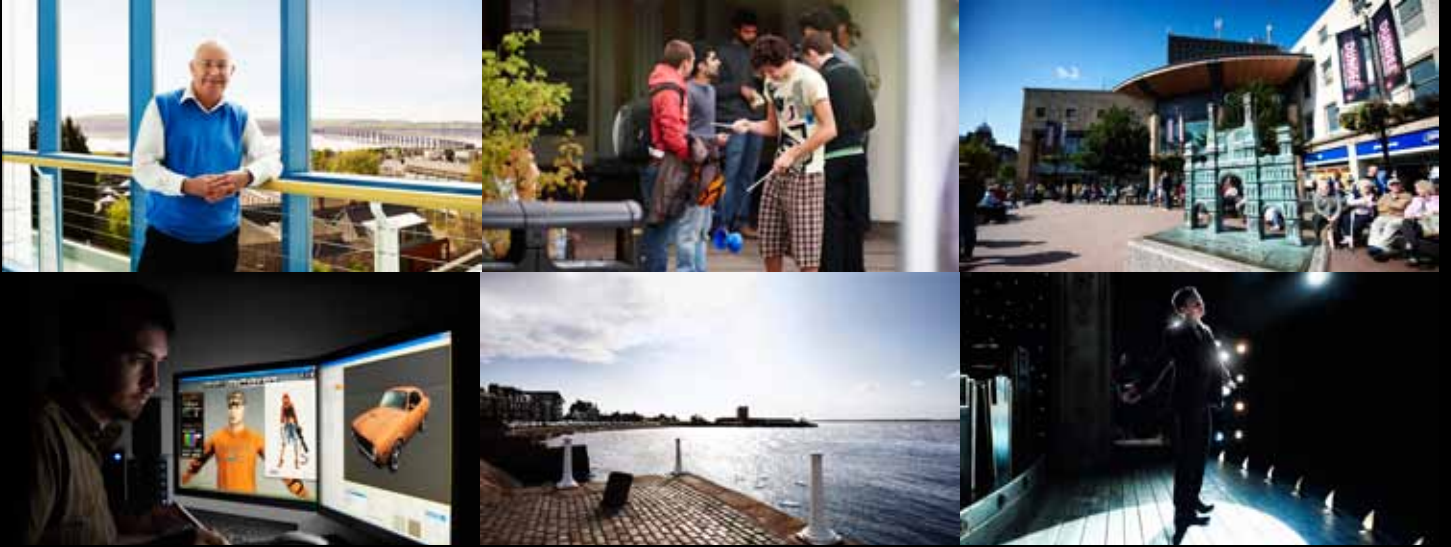
ダンディーはスコットランドの東岸、テイ川の河口というとても魅力的な場所にある、近代的で活気のある都市です。ダンディーの人口は約14万3千人で、市から車で1時間圏内にはおよそ64万人が住んでいます。

ダンディーは地理的にたいへん便利な場所に位置しており、道路交通網の発達と合わせ、スコットランドの90%の都市に車で90分以内に行くことが可能です。ダンディー駅は英国東海岸鉄道の主要駅のひとつであり、また市内にあるダンディー空港からはベルファスト、バーミンガム、ロンドンシティ空港への直行便が運行しています。さらに、旅客船の港としてもダンディーは重要な役割を果たしています。

またダンディーは、スコットランドでもっとも日照時間が長く、たくさんの公園と緑の豊かさを誇り、市内の海岸は優れた水質や環境レベルを示す「ブルーフラッグ」の認証を受けています。加えて、近代的に改修された市の中心街（City Centre）は数々の表彰を受けています。このようにダンディーは、そこに住む人々、そして街を訪れる人々に、とても質の高い生活を提供しているのです。

すでにスタートしているダンディー市のウォーターフロント開発プロジェクトは、未来を見据えた魅力的な長期計画のもとに進められています。これによって街のさらなる活性化と、「水」とより良く連携された街づくりが期待されています。ウォーターフロントの中央部はこのプロジェクトの核となっており、ピクトリア&アルバート博物館を含むリバーサイドタウンが近い将来誕生する予定です。





現在、バイオテクノロジー、デジタルメディア、そして接客業が、ダンディーにおける産業の中心として発展を続けています。ダンディー大学では50カ国以上から集まった4,000人を超える自然科学系の研究者が日々研究を行っており、特に糖尿病、癌、神経科学の分野において顕著な業績を上げています。この幅広い領域での質の高い研究に魅了されて、Axis Shield、CXR Biosciences、Millipore といったバイオテクノロジー企業が市内に拠点を置いています。またデジタルメディアにおいても、ダンディーは世界のゲーム産業のクリエイティブセンターとも言える地位を占めています。スコットランドにあるゲーム会社の半数はダンディーを拠点としており、ダンディーはアバテイ大学で学んでいる次世代のゲーム産業を担う若きゲームデザイナー達をサポートしています。

WL Gore、Michelin、Tesco などの国際企業も、ダンディー市内で主要な事業を展開しています。また近年では、より多くの公的機関（慈善事業、年金、税金、関税関連業務など）が、ここダンディーに集結してきています。

そして、ダンディーは、人口に対するフルタイムの学生数がスコットランドで最多であることが示すように、学生の街でもあります。市内には2つの総合大学アバテイ大学とダンディー大学、そして高等専門学校と教員養成学校があります。地域に根ざしたテクノロジー企業の成功は、これら高等教育機関と企業との強いつながりによるところが多いと言えるでしょう。

AI-Maktoum Institute for Arabic & Islamic Studiesは、優れた教育と地域社会活動を通して、より深い文化の相互理解の橋渡しをする機関として、ダンディーに必要不可欠なものとなりました。

ダンディーは芸術や文化の面でも中心的な存在です。数々の表彰を受けている Dundee Contemporary Arts Centre (DCA)、Rep Theatre、Sensationサイエンスセンターが中心となり、数多くのレストランやカフェとともに、人々の生活に潤いをもたらしています。この他にも、多くの劇場、美術館、ギャラリー、ショッピングセンターがあり、また娯楽施設も豊富です。そして、ダンディーはゴルフをする人々にとっても絶好の街かもしれません。周辺には世界的に有名なゴルフコースが幾つもあり、ゴルフの聖地セント・アンドリュースはテイ川をわたってすぐそこです。